

2021年4月16日



環境パイル(S)工法協会 新規本会員募集のお知らせ

環境パイル(S)工法協会が地域限定で新規本会員を募集することをお知らせいたします。

環境パイル(S)工法協会とは、業界初の木材を使用した地盤補強工法として第三者認定を受けた環境パイル工法の全国展開を目指し、2010年11月に設立した。正会員(開発会社)・本会員(工法実施会社)・準会員(販売会社)からなり、北海道から九州全域にわたり施工を行っています。

最近では、『環境パイル工法』の材料として使用されているエコマーク商品「環境パイル」が環境配慮商品として評価され、公益財団法人日本環境協会主催の「エコマークアワード 2020 優秀賞」を受賞しました。<https://www.ecomark.jp/award/2020/>

また2020年10月には、国土交通省新技術情報提供システム(NETIS : New Technology Information System ネットイス)も登録されました。

2021年3月末時点で累計棟数 33,164 棟、使用材積数 167,352 立法メートルを達成し、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向け、積極的に取り組んでいます。

新規本会員を募集する都道府県は以下となります。

北海道、青森県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、愛知県、滋賀県、奈良県、大阪府、和歌山県、兵庫県、京都府、福井県、鳥取県、島根県、岡山県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、鹿児島県、沖縄県



<環境パイル工法の特徴>

1) 部材及び工法で第三者認証取得

本工法は、一般財団法人日本建築総合試験所による建築技術性能証明を取得しています。

2) 2種類の形状と4種類の材長で現場のニーズに対応

円柱(ロータリー)タイプとテーパ状(皮むき)タイプの地盤補強材を定型化することで設計常数を確立し、常に的確な設計が可能です。径は4種類、長さ4種類あり最大施工深さも12m(Φ120mm・Φ140mmに限る)まで対応可能です。

3) 環境負荷を低減し地場の木材も使用可能

セメントや鉄を用いた地盤改良を木材に置換することにより、1棟当たりのCO₂を約10t削減でき、施工材料による六価クロム等の環境汚染の心配もありません。

4) 優れた施工性とコストパフォーマンス

現場でも優れた支持力を確認。確実な施工を可能にしています。従来工法と比べて工期も短縮できるためコストパフォーマンスも期待できます。

■環境パイル(S)工法協会とは

<概要>

業界初の木材を使用した地盤補強工法として第三者認定を受けた環境パイル工法の全国展開を目指し、2010年11月に設立。

正会員(開発会社)・本会員(工法実施会社)・準会員(販売会社)からなり、北海道から九州全域にわたり対応が可能。

URL : <https://www.k-pile.net/>

<コンセプト>

- ・工法の普及に努めると共に、間伐材を有効活用することで国内の林業活性化に微力ながらも貢献し、国産材の需要拡大の推進に寄与すること
- ・伝統工法としての確かな実績と、最新の技術により開発された環境パイルを通じ日々の暮らしの安全と自然環境改善を通じた社会貢献

【問い合わせ先】

環境パイル(S)工法協会 事務局

担当： 上條

T E L： 03-6631-6565

E-Mail： r-kamijo@ksustech.co.jp